



菌辺主幹



井口課長



渡辺補佐



佐藤補佐

技術講習会の日程は次の通り。
◎技術講習会
▽日時：七月二十四日
▽場所：労働福祉会館(郡山市細沼町)
▽講師：県土木部営繕課長ら三氏



電協会館での技術委員会
△対象建設現場：県立医科大学付属病院(福島市)九月十一日、午後二時
△受講対象者：本部、各支部技術委員、福島支部会員
◎第二次工事施工体験発表会
▽発表者：現場代理人クラスの技術者
※具体的な内容については、九月十二日に開かれる技術委員会にて検討。

申し込みは20日まで
△建設業振興基金の主催による「六十一年度建設業経理事務士四級特別研修」が、九月に白河市と会津若松市で行われる。
これは、建設業の簿記会計知識の普及と会計処理能力の向上を図ることを目的とした大臣認定制度で、講習と試験とを組み合わせて検定を実施するもの。
受講料は、テキストと試験料を合わせて一万三千元。開催日は九月四、五日が白河建設会館、同九、十日が会津若松建設会館。申込受付は八月二十日までとなっている。

260名が熱心に受講

第4回技術講習会



大槻会長

講義に先立ち、まず大槻清会長があいさつ「我々電気設備業界を取り巻く環境は厳しき。これを乗り切るためには、質疑応答を行った。」

各社の主任技術者を対象に、七月二十四日郡山市労働福祉会館で第四回技術講習会が開かれ、県内から二百六十名が参加した。この講習会では、井口忠尚営繕課長らが講師を務め、電気設備工事等に関する問題点などについて説明をうけるとともに、質疑応答を行った。

技術力の向上を図る 井口県営繕課長ら講演

「技術」という無形の財産を貯えることが必要。技術の情報収集、新技術の開発に努めながら好機を待つことが大切。有形の財産にとらわれず、有形の財産にとらわれず、とダンピングにつながる。今日は一生涯勉強してほしいと述べた。続いて来賓として出席した桑原良恭郡山建設事務所長が、参加者を激励、講義に入った。

午前の部では、まず井口忠尚県営繕課長が「県の営繕工事について」と題して講演し、最近の営繕工事、インテリジエントビル等時代に対応した設備が今後重要になってゆく」と強調した。続いて佐藤秀雄営繕課長補佐が建築工事一般について講義し、公共建築工事の流れや基本計画、また設計から契約、工事監理、検査引き渡し、維持保全まで順を追って説明した。

六十一年度第一回目の技術委員会が、六月二十四日福島市の電協会館で行われた。会議には、大槻清会長と黒田正之技術委員長ら委員全員が出席し、六十一年度事業計画について話し合った。会議に先立ち大槻会長が「皆さんを企画してほしい」とあいさつした。引き続き黒田技術委員長あいさつアドバイザーとして出席した渡辺昭夫県営繕課長補佐の紹介があり、議事に移った。

研修等計画決める 第一回技術委員会開催

このあと黒田正之技術委員長が、本年度の技術研修計画を説明、最後に質疑応答を行い閉会した。



天野建設相が誕生
建設業界の期待高まる
第三次中曽根内閣の建設大臣に、衆議院本県一区選出の天野光晴代議士が就任し、地元をはじめ建設業界の期待が高まっている。
天野建設相は、双葉郡双葉町出身で今年七十九才。昭和二十二年に県議初当選、三十三年の総選挙で代議士初当選を果たした。その後労働政務次官、科学技術政務次官を務めた。
四月十七日には、衆議院建設委員長に就任した。
五月十九日に三木改造内閣下で国土長官を務め、景気浮揚と国土開発に力を発揮した。
その後、五十九年から衆院予算委員長を約一年間務め、今年に入ってから、自民党内閣入り調査会長として内閣拡大をにらんだ天野試案を次々に発表、二月七日には在職二十五年度の掲額議員表彰また春の叙勲では、勲一等旭日大綬章を受章している。
大臣就任後も、意欲的に下期における大型補正の実施、来年度事業費の確保に全力を挙げている。

電 設 新 聞

発行所
社団法人
福島県電設業協会
社 大 槻 清
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

日興の 中期国債ファンド

便利で 有利な 好利回り

日興証券

福島支店
福島市大町4-4 ☎960
0245-22-7111

技術で創造する National 松下電工

①シンプル配線 ②シンプル施工 ③シンプル設計

シンプル思想。

中央監視盤から制御端末機器まで、ビルドアップ方式のシンプル思想で一元化。標準化された豊富なコンポーネントで、用途に合わせた組み合わせが簡単にできます。

New-MECS

ニューメックス

●お問い合わせは、——松下電工・福島電材(営)・(〒963)郡山市字石塚111番地 ☎(0249)44-3331へ。

第5回

中堅技術者研修を開催

来月9日より建設技術学院

規律ある集団生活を通じ、心身を鍛練し企業の将来を支える幹部の養成に資することを目的に、九月九日から三泊四日の日程で二本松市の福島県建設技術学院を会場に開かれる。

建築工事に伴う電気設備はますます高度化、複雑化、システム化してきており、工事に携わる技術者の質的向上が求められており、会員企業の現場代理人クラスの中堅技術者の一層のレベルアップが課題とされており、研修でもこ

うしたことを背景としカリキュラムが組まれた。

申し込みは26日まで

研修の参加人数は、四十名程度とされており、受講料は一万四、四〇〇円(九月九日の夕食より十二日までの宿泊費、食費、資料費)。申し込み締切りは、八月二十六日まで。日程及び講師は、次の通り。

◎九月九日
午後一時集合、オリエンテーション後開講式。二時半一シジョン後開講式。二時半一シジョン後開講式。二時半一シジョン後開講式。

から講義開始、「時代に対応する中堅技術者の心構え」(黒田正之技術委員長)、午後三時四十分から講話(雪吹幸雄福島県建設技術学院長)。

◎九月十日
午前九時から講義開始。午前十時「セキュリティ」④コミユニケーションを約束する日Aシステム(松下電工(株)本社研修センター)主幹講師内田信氏。午後一時から「インテリジェントビル(IBM)の概念と具体例(松下電工(株)BS開発センター)電気技術主任講師。二時半一シジョン後開講式。

午後二時より「建設現場における災害防止」(福島労働基準局長長戸章一氏)。

◎九月十二日
午前九時より「建設現場における災害防止」(福島労働基準局長長戸章一氏)。

午後二時より「建設現場における災害防止」(福島労働基準局長長戸章一氏)。

シニアリングセンター所長大木敏勝氏。

◎九月十一日
午前九時より「建設設備工事設計監理の概要及び施工管理について」(県土木部管轄課主任建築技師斎藤隆夫氏)。

午後二時より「建設現場における災害防止」(福島労働基準局長長戸章一氏)。

現場研修を実施

県立医大付属病院で

福島市松川町地内に建設されている県立医科大学付属病院建設電気設備工事を対象に九月十一日(木)午後二時から現場研修会が行われる。

この研修会の対象者は、協会の本部、支部の各技術委員

それに開催地となる福島支部会員のほか中堅技術者研修生等約八十五名。講師は、県立医科大学整備準備室の担当官が当たる。

日程は、午後一時四十五分に工事現場の安全広場に集合し、二時から県の担当官から工事概要の説明を受ける。その後、三、四の班を編成し、現場での研修を行う。その後技術検討会を行う予定。概要説明及び技術検討会は、付属病院玄関ホールで行うこととされており、参加者は、作業服、保安帽、スリッパを着用すること。また駐車場が狭少なため各支部からの参加者は、相乗り等で参加する。

東北地方における公共事業の拡大を求めて、七月十一日

仙台市の宮城県民会館大ホールで、各県から二千人が出席

「東北地方公共事業拡大総決起大会」が行われた。

大会では、主催者を代表して玉川敏雄東北経済連合会長が「東北が活力ある地域となるためには、公共事業の拡大が必要だ」とあいさつした。

続いて建設省の井上章平技監が、建設大臣の祝辞を代読、そして天野光晴自民党公共投資推進議員懇談会長(当時)井上孝、細田吉蔵両代議士らが、同日選挙の公約の一つでもあった公共事業の確保拡大に全力で取り組むと述べた。

このあと菅家忠男東北建設業協会連合会長ら四氏が、地方の中小建設業者の振興等について意見発表を行い、続いて全員で決議を採択し閉会した。

決議は、次の通り。

公共事業は、国民生活や経済活動の基盤となる社会資本の整備を担い、また経済への広汎な波及効果を通じて、わが国の産業、経済活動に活力をもたらし内需を中心とした景気振興に極めて大きな役割りを果たしている。

一方公共投資依存度が極めて高い東北地方の経済情勢は昭和五十五年以降多年にわたる公共事業費の抑制により景気回復に盛り上りを欠き雇

公共事業の拡大を！

仙台市で総決起大会



各県から二千人参加

「東北地方公共事業拡大総決起大会」が行われた。

大会では、主催者を代表して玉川敏雄東北経済連合会長が「東北が活力ある地域となるためには、公共事業の拡大が必要だ」とあいさつした。

続いて建設省の井上章平技監が、建設大臣の祝辞を代読、そして天野光晴自民党公共投資推進議員懇談会長(当時)井上孝、細田吉蔵両代議士らが、同日選挙の公約の一つでもあった公共事業の確保拡大に全力で取り組むと述べた。

このあと菅家忠男東北建設業協会連合会長ら四氏が、地方の中小建設業者の振興等について意見発表を行い、続いて全員で決議を採択し閉会した。

決議は、次の通り。

公共事業は、国民生活や経済活動の基盤となる社会資本の整備を担い、また経済への広汎な波及効果を通じて、わが国の産業、経済活動に活力をもたらし内需を中心とした景気振興に極めて大きな役割りを果たしている。

一方公共投資依存度が極めて高い東北地方の経済情勢は昭和五十五年以降多年にわたる公共事業費の抑制により景気回復に盛り上りを欠き雇

用情勢等は依然厳しく、公共事業の拡大による地域経済の活性化が急務となっている。

また、今後確実に到来する高齢化社会の出現以前に東北地方の発展と経済の自立を図るためには、最も基礎的な交通網、国土保全等の社会資本を整備することが重要でありこのため公共事業の拡大が絶対不可欠である。

よってここに次の事項の実現を国会並びに政府関係機関に強力に要望する。

一、昭和六十二年予算の公共事業費は、大幅な増額を確保すること。

一、道路、河川、ダム等の基本的社会資本を計画的に整備すること。

一、道路特定財源は、全額を道路整備へ充当するとともに過年度のオーバーフロー分を速やかに道路整備へ充当すること。

下請代金を適正化

建設省経済局が通達

建設省建設経済局は、このほど各都道府県及び各建設業団体の長に対して「下請代金支払いの適正化等について」通達した。

この通達は、公正な下請契約を締結するとともに、その代金の支払いについても、適正化に努めるよう指示したものである。現下のところ、建設業を取り巻く環境は厳しく、企業

の倒産が依然として高水準で推移しているほか、利益率の低下も続いていることが背景に、中小下請建設業者の経営悪化が懸念されている。

建設省は、この通達で都道府県に対し、内容の周知徹底を、また団体には傘下にある者に対して指導をするよう指示している。

内容は、次の通り。

①元請負人が前払金の支払を受けた時は、下請負人に対して、資材の購入、労働者の募集その他建設工事の着手に必要な費用を、前払金として支払うよう適切な配慮をする。特に、公共工事においては、発注者から現金で前金払がなされるので、企業の規模にかかわらず、下請人に対して相応する額を、現金で前

払のために振り出す手形の期間を原則として、二〇日以内とし、さらに経営環境の好転に即応しつつ、短縮するよう努力すること。また、一般の金融機関による割引を受けることが困難であると認められる手形を交付しないこと。

④元請負人は、下請負人が倒産、資金繰りの悪化等により下請工事の施工に関する再下請負人、労働者などに対し、請求代金、賃金の不払など不測の損害を与えることのないよう十分指導すること。

⑤上記のほか、建設業法及び元請・下請関係の合理化に関する諸通達を、遵守すること。

右決議する。

◇変圧器の総合メーカー

株式会社 **愛知電機工務所**

◇高圧スイッチの専門メーカー

株式会社 **大垣電機製作所**

◇粉体混合機、温水ボイラー

愛知電機商事(株) 0222-21-5576

東芝一般換気扇

セレクトファン2機種

●業界初のワンタッチ着脱方式

VFH-20AN(20cm) ¥11,100 (埋込寸法25cm角)

VFH-25AN(25cm) ¥12,600 (埋込寸法30cm角)

●低騒音 ●大幅な省電力化実現 ●白を基調にした薄形デザイン

スポットライトからシステム調光まで

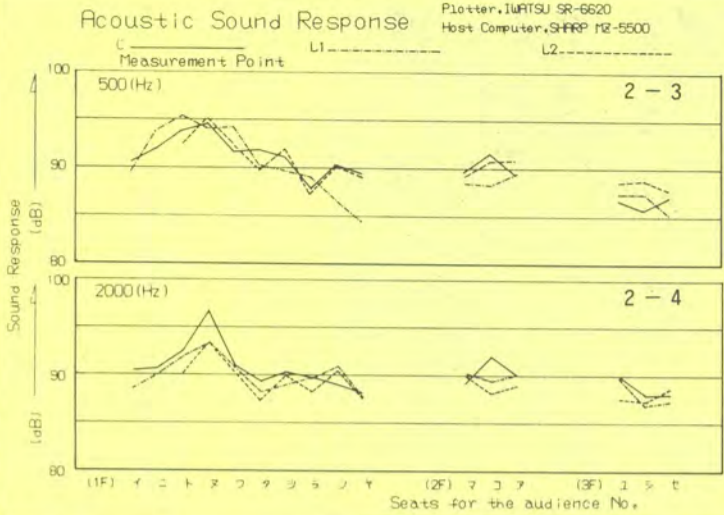
MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

丸茂電機株式会社

本社・営業部 〒101 東京都千代田区神田須田町1-24 TEL (03)252-0321
 大阪出張所 〒530 大阪市北区野崎町9-6 東船場ビル TEL (06)312-1913-1922
 名古屋出張所 〒460 名古屋市中区栄4-1-1(中野ビル) TEL (052)263-7425(代)
 福岡出張所 〒810 福岡市中央区大名1-14-45(福岡灘地ビル) TEL (092)741-4762(代)

第1回工事施工体験発表会より

福島市公会堂電気設備改修工事に伴う音響測定について



古さの中に現代感覚

私達が現場で実際に体験します。それが高度な技術的暗模索しながら、全員の協力で無事完成した事柄を発表し、知識及び未知なものへのチャレンジ精神を必要としたことができます。誠に光栄に存じます。

福島市公会堂は、昭和三十一年に建てられました。当時としては最新のスタイルと設備だったと思います。しかし昭和五十八年に公会堂電気設備改修工事が発注された時点では、ホール・心臓とも言うべき舞台音響・舞台照明・舞台機械が二十四年という経年劣化により、満足いく状態にはなく、市民からの苦情が多くあったと聞いております。建物と言えども生きものです。古くなれば、あちこちに故障が出るのは当然です。我々が今回の工事にあたり、細心の注意を払ったのは、まず第一に古さの中になげなく現代最先端の機器をどううまくフィットさせるかという事でした。

①

音響工事上の留意点

今回の工事の様に、ホール内音響装置の主要部分(スピーカー、増幅器)を取替えた場合、次の三項目に特に注意する必要があります。

- (一)スピーカーユニットの放射エネルギー密度。
- (二)スピーカーのインピーダンスマッチング。
- (三)取付角度及び位置。

「ホール音響測定」

ホール音響測定は、大きく二つに分ける事が出来ます。

- (1)室内音響測定(ホール固有の特性)
- (2)電気音響測定(設備した音響機器の状態を表わすもの)

次にホール音響測定の細目に入ります。

- 1 室内音響測定細目
- (一)残響時間周波数測定
- 2 電気音響測定
- (一)伝送周波数測定



大槻電設工業(株)専務 大槻賢弥

福島市公会堂電気設備改修工事概要

(福島市公会堂電気設備改修工事)

- ▽工事金額 一億四、四〇〇万円
- ▽工期 五十八年十二月十日～五十九年五月三十一日
- ▽発注者 福島市▽設計監理 福島市建築住宅課、藤山下設計

(工事内容)

- (1)受変電設備 既設電気室改造、調光用キュービクル新設
- (2)電灯設備 客席六十六名、

- 一、二階ロビー九〇台、控室二〇台、楽屋十九台、会議室四台、その他二〇台
- (3)拡声設備 スピーカー二十五ヶ所改修(全撤)
- (4)火災報知設備 感知器四〇ヶ所改修(全撤)
- (5)舞台照明設備 調光操作卓電子クロスバー、舞台袖操作卓、ワイヤレス操作卓、フラットライト二本、ホルゾンライト五本、ポーターライト二本、サスペンションライト二本、サスペンションライト三本、スポットライト三本、シーリングス、ポットライト一本、フロア、アイコンセンタ一〇カ所
- (6)舞台音響設備 プロセッサムスピーカ三基(アルティマック製品) 三点つりマイク装置一式(AKG製品) 電力増幅器一〇台、二〇〇ワットスピーカー、デバイダー、同上組込
- (7)舞台つり物機構設備

「ホール音響調整」

(一)均等な音場の確保

ホール内の各測定点において、中心周波数五〇〇Hz及び二ヶ所の短音を発生させ、そのエコータイムパターンを観測し、有害なエコーが生じにくいようにスピーカーユニットの角度を調整する。

(二)有害なエコーの防止

ホール内の各測定点において、中心周波数五〇〇Hz及び二ヶ所の短音を発生させ、そのエコータイムパターンを観測し、有害なエコーが生じにくいようにスピーカーユニットの角度を調整する。

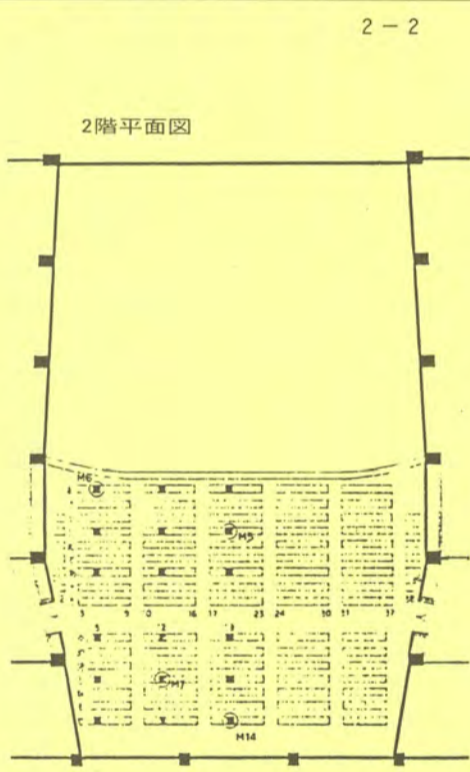
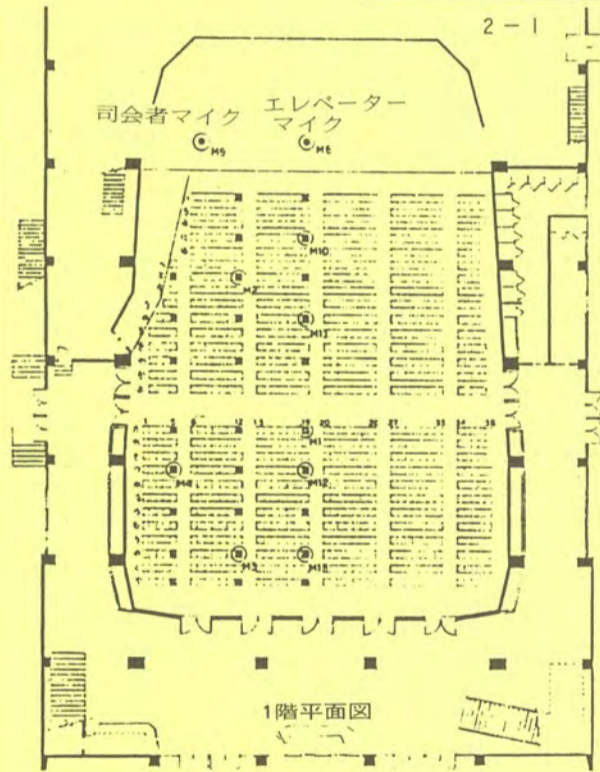
図二一五は実測データ写真

(三)ハウリングに強い音場

実際のハウリングを起すその時の周波数成分を三分の一実時間周波数分析機で観測し、ハウリング周波数をイコライザーで調整する。

(四)人間の声に躍動感をテストテープ及び実際の声のリアルタイムで聞き、チャンネル各アンプのゲインを調整し、聴感上最良となるようにする。この作業は最終調整であり省略説明です。

以上がホール音響調整の概略説明です。



三菱照明器具・換気扇

三菱電機販売会社

東北三菱電機商品販売株式会社

福島営業所 〒960 福島市御山字田中58
TEL (0245) 34-7121

TAKAOKA

VT-700 薄形キュービクル

VCB 3段積奥行 700mm

■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備

コンピュータシステムのニーズに応える

高岳製作所

福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

電線・ケーブル

日本電線株式会社
日総業株式会社
大崎電線株式会社
矢野川電線株式会社
東三和電線株式会社
品川電線株式会社
三豊電線株式会社
佐々木電線株式会社

丸吉電機株式会社

取締役社長 吉田 悠

仙台支店 〒983 仙台市卸町3-5-6
TEL (0222) 84-3035-8

本社 〒105 東京都港区芝3-24-12
TEL (03) 453-5331

時代が、熱い注目。HIDライティング。

道路、スポーツ、工場はもとより、ビル、大規模施設、ショップ照明にいたるまで。そのパワーと、その多彩さに、いまのニーズは高まっています。とくに、アイ マルチハイエースは演色性に優れ、文化・商業施設に幅広く利用されています。

- アイ マルチハイエース ●アイ スペシャルクス
- アイ クリーンエース ●アイ サンルクスエース

光の総合メーカー

岩崎電気

本社 / 〒105 東京都港区芝3-12-4
TEL (03) 452-5851(大代)

郡山営業所 / 〒963 郡山市草根1-21-17
TEL 0249(33)5308(代)

世界にお客様

TERASAKI

ブレーカのテラサキです。

ノヒューズブレーカ

漏電遮断器

気中遮断器

寺崎電気産業株式会社

本社 大阪府阿倍野区阪南町7丁目2番10号 TEL(06)692-1131(大代)

東北機器出張所: 宮城県仙台市森野町2丁目24番9号 TEL(0222)83-0501

映像 音響機器の総合

システム設計・工事 保守

松下電器産業(株) 東北特機営業所 (0222)23-4111

福島ナショナル通信特機(株) 本社 (0249)23-1710

福島(営) (0245)35-6186

いわき(営) (0246)24-1821

会津(S S) (0242)23-1919

協会のうごき



- 6月
- 4日 県建産連第2回通常総会 (正副会長、専務理事) 建設センター
- 6日 天野光晴先生を励ます会 (120名参加) 電協会館
- 11日 県電波障害防止協会通常総会 (専務理事) あぶくま荘
- 12日 第17回協会主催ゴルフ大会 (55名参加) 鹿島C・C
- 17日 猪苗代町長に電気工事分離発注と県内業者の活用方を陳情 (会長、専務理事、会津支部長)
- 24日 第1回技術委員会 (会長、委員全員) 電協会館
- 25日 協会創立30周年記念事業特別委員会 (会長、委員全員) 電協会館
- 7月
- 2日 福島原子力懇談会定時総会、10周年記念式典 (専務理事) 杉妻会館
- 9日 第2回正副会長会議、電協会館
- 10日 第1回広報委員会 (委員全員) 電協会館
- 12日 福島建築士会第36回通常総会 (國津副会長) 須賀川市
- 18日 八巻久志氏知事表彰祝賀会 (会長ほか役員) 相馬市
- 19日 伸びゆく福島を語る政経パーティ実行委員会 (専務理事) 県庁
- 22日 県選出国會議員及び県東京事務所陳情 (会長ほか)
- 23日 福島建設産業団体連合会第12回理事会 (会長) 建設センター
- 24日 昭和61年度技術講習会 (26名受講) 郡山市労働福祉会館
- 25日 県木造家屋建築工事安全対策委員会 (専務理事) 建設センター
- 28日 第5回建築文化賞主催者後援団体合同会議 (専務理事) 自治会館
- 30日 正副会長会議、電協会館

高橋氏らに表彰状

61年度の県優良工事



昭和三十九年度優良建設工事の表彰式が八月六日午前十一時から福島市の杉妻会館で行われた。

表彰式には、電気設備部門で受賞となった当協会員の高橋電気工業所(原町市)をはじめ、受賞三十三社の代表者並びに関係団体の長(当協会からは大槻清会長)ら来賓多数が出席した。

開会の辞のあと、松平知事が「どれも模範的な工事ばかりで、今後も精進して欲しい」とあいさつ、知事から高橋幸一・高橋電気工業所代表社員らに表彰状と盾が贈られた。

土木部の電気設備部門で受賞した高橋電気工業所の工事現場は、原町警察署庁舎及び交通機動隊原町分駐隊庁舎。内部間仕切等が多い特殊な建物のため、工事施工範囲も広く、社内検査の徹底と器具・盤類等の据付け、納まりに細心の注意と工夫をこらし、豊富な技術経験を生かし、その出来栄の優秀さが認められた。

優れた技術 を高く評価

正副理事長会議を招集

県電気工事工業組合は、十二日午前十時半から、電協協会館で正副理事長会議を開く。

協議事項は、電気施工管理技術制度の創設阻止、第四回電気工事安全全国大会について、また、引込線委託工事協約改訂など八項目。

今回は、この中に工業組合の教育指導事業の推進並びにその助成についても協議の対象となっている。時間は、午前十時半から。



第1回特別委員会 (電協会館)

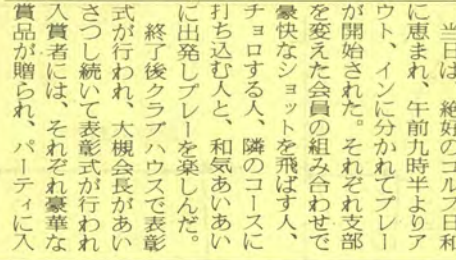
八巻氏の受賞祝う

今野相馬市長ら祝辞

六十一年度の県知事表彰を受けた本協会相馬支部長八巻久志氏の受賞祝賀会が、本協会相馬支部の主催で七月十八日に相馬市の光陽会館で来賓ら百名が出席し、盛大に催された。

祝賀会では、今野相馬市長、荒和英新地町長らが祝辞を述べた。また本協会の大槻清会長も八巻氏の功績を称えたいと、今後の活躍に期待したいと激励した。

これに対し八巻氏が謝辞を述べ、



当日は、絶好のゴルフ日和に恵まれ、午前九時半よりアウト、インに分かれてプレーが開始された。それぞれ支部を変えた会員の組み合わせで、激しいショットを飛ばす人、チョロする人、隣のコースに打ち込む人、和気あいあいに出発しプレーを楽しんだ。

終了後クラブハウスで表彰式が行われ、大槻会長があいさつし続いて表彰式が行われ入賞者には、それぞれ豪華な賞品が贈られ、パーティに入

国津氏が優勝

17回親善ゴルフ大会

本協会通常総会を終えた六月十二日、相馬郡鹿島町の鹿島カントリー倶楽部で第十七回協会主催親善ゴルフ大会が盛大に開かれ、県内各地より五十五名のプレーヤーが参加した。

入賞者は次の通り。

優勝 國津政夫	50、49、31・2、67・8	三位 三浦光博	45、45、21・6、68・4
準優勝 村田剛	52、47、31・2、67・8	四位 下山勝弥	39、44、14・4、68・6
一位 大野孝夫	52、47、31・2、67・8	五位 田村忠男	50、43、24、69
二位 立原龍一	52、47、31・2、67・8	▽アベビール早川武邦	39、38、7・2、69・8
		▽団体選一位 郡山支部	

編集後記

△台風十号くずれの低気圧が、浜通りと中通りを中心に通過し、各地に深い爪跡を残した。被害総額は四百億円を上回るものとみられている。

△浸水した建物もとり、道路河川についても、復旧には相当時間を要することだろう。被災地の方々には、心から御見舞い申し上げます。△さて同日選挙が終り新内閣が発足本県選出の天野光晴代議士が建設大臣に就任された。高等小学校卒業後、百姓、かわら職人、活動弁士、巡査、保険外交員、そして県議代議士と自伝「愉快に渡ったジグザグ人生」を読むと、大変な御苦労と、そしてまた努力家であるということが行間にも感じ出ている。

△豪放らしく、歯に衣を着せぬタイプで筋が通らないと福島弁で役人、技術者でもしかりとはす反面、非常な人情家でもある。七月のダブル選挙での圧勝、そして二度目の大臣のイス、一貫して建設畑を歩み、建設族の第一人者まさに「建設計」相の

高低圧配電盤・自動盤・監視盤・計装盤
分電盤・コントロールセンター・その他

株式会社 山形電機製作所
福島営業所
所長 高橋 実

〒960-11 福島市大森字宮ノ前55の14
TEL(0245)46-1321・FAX(0245)46-1322
本社 山形市大字十文字蓮窪1318-5 TEL(0236)86-4316
営業所/山形・秋田・盛岡・仙台・福島・宇都宮・東京

受変電設備の総合メーカー

- MDR1C計測システム
- 屋内外閉鎖型配電盤
- 各種自動制御盤
- DW式監視制御システム
- コントロールセンター
- 計装盤

株式会社 宮城電機製作所

本社 工場 〒980-01 宮城県宮城郡利根町飯土井字長者前51 ☎022356-5111代
東北営業所 〒980 仙台市双葉ヶ丘一丁目45番8号 ☎0222(34)3311代
東京営業所 〒170 東京都豊島区南大塚二丁目2番5号 ☎03(947)6581代
福島出張所 〒960-01 福島市北矢野目字成田小屋12 (東開商事ビル3階) ☎0245(53)6651
いわき営業所 〒970 いわき市平上荒川字安草48 (山崎ビル2階) ☎0246(28)1491

スリムなステンレスケース。メンテナンスフリー

高圧ガス負荷開閉器
7200V 200A

自動式(瞬時励磁形)
GSN-A形
手動式
GST-A形

株式会社 戸上電機製作所
本社・工場 〒840 佐賀市大財北町1-1 ☎0952(24)4111 FAX0952-26-4594
仙台営業所 〒980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル ☎0222(61)2261 FAX0222-61-2263

配電盤専門メーカー
Furukawa

配電盤・制御盤・分電盤
FMAC監視制御システム・FMAC計測システム
FMAC-μマイクロコンピュータ・FMAC-MSシーケンスコントローラ
F55-8A自動力率制御継電器・データログ・ロードチェッカ
板金から組立まで一貫作業の

古川電気工業株式会社
代表取締役社長 茂泉 嘉佐

本社 仙台市原町2丁目1-10 TEL(0222)36-3327代 983
工場 仙台市原町2丁目1-10 TEL(0222)36-6317代 983
支店営業所 東京、仙台、盛岡、青森、秋田、札幌
郡山営業所 福島県郡山市並木4丁目5-2 TEL(0249)34-0859代 963
所長 松田 貴充

エネルギーとエレクトロニクスの

FUJI ELECTRIC

富士電機

富士電機株式会社 東北支社
〒980 仙台市一番町一丁目2番25号 (仙台NSビル) ☎(0222)25-5351

技術開発で産業界に貢献する
配電盤製造業。

(製造品目)
高低圧屋内外キュービクル、各種分電盤
制御盤、操作盤、計装盤、設計製作

株式会社 三陽電機製作所
いわき市鹿島町久保字飯栗田8番地
TEL(0246)58-3801代